

平成26年度 全国学力・学習状況調査

実施報告書

平成26年12月
札幌市教育委員会

はじめに

全国学力・学習状況調査は、文部科学省が「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」などを目的として実施しているものであります。本年度は原則として小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年、中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全児童生徒を対象に、平成26年4月22日（火）に調査を実施いたしました。

札幌市においては、平成19年度からの調査開始以来、分析結果と改善の方向性等について、その都度報告書としてまとめてきました。平成26年度調査につきましても、全国的な状況との関係において、本市の調査結果から明らかとなった課題や改善の方向等を、10月に「札幌市の調査結果の概要」としてまとめ、「札幌市の子どもの現状と今後の取組」とともに各学校に示しましたが、その後、各領域や設問ごとに、全国の解答状況との比較や解答類型及び無解答率の検討など詳細な分析を行い、このたび指導方法の改善の方向等について本実施報告書にまとめました。

教科に関する調査の結果を見ると、教科・領域では、全国平均と±3%の範囲でほぼ同程度、または上回っている状況となっています。問題ごとにみると、知識・技能の定着については、小学校国語の「漢字を正しく書くこと」や、小学校算数における「四則の混合した計算や、異分母の分数の計算」などにおいて、活用については、一部の問題において、全国と比較して下回っているものが見られております。

また、今年度は、これまでの取組についての経年での比較や、成果と課題を詳細に分析した「全国学力・学習状況調査結果分析」も示しております。

各学校におかれましては、本実施報告書を積極的に活用して、「さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン」に基づく、自校の「「学ぶ力」育成プログラム」に反映させ、子どもたちの学習意欲を高め、自ら学ぶ力、自ら考える力などの生きる力をはぐくむために、指導方法等のより一層の充実・改善を進めるようお願いいたします。

札幌市教育委員会

教育長 町 田 隆 敏